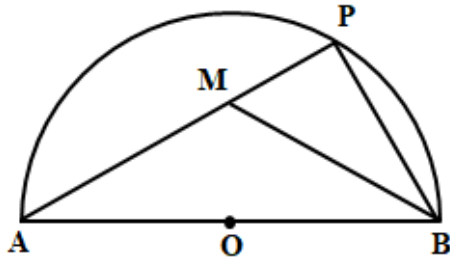


# 埼玉県公立高校入試問題 解説

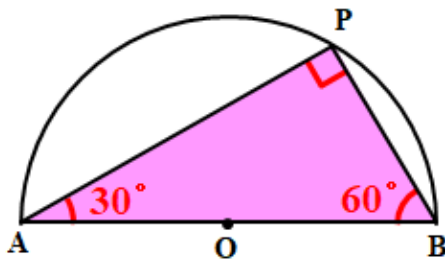
平成31年度 埼玉県公立入試

4 学力検査・学校選択問題共通



線分ABを直径とする半円Oの弧AB上に点Pをとります。また、線分AP上にAM:MP=2:1となる点Mをとり、線分BMをひきます。AB=6cm、 $\angle ABP=60^\circ$  のとき、次の各問に答えなさい。

(1) 線分PMの長さを求めなさい。



**入試必勝ポイント①**

ABが直径だから、

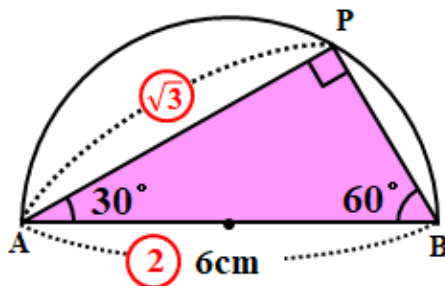
$$\angle APB = 90^\circ$$

また、

$$\angle ABP = 60^\circ$$

$$\angle BAP = 30^\circ$$

よって、 $\triangle APB$ は三角定規の三角形。



**入試必勝ポイント②**

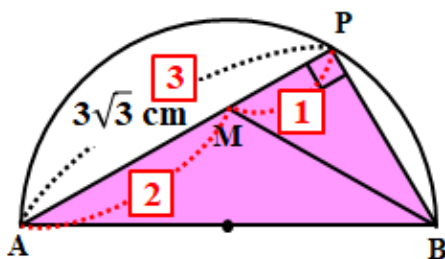
よって、

$$AP : AB = \sqrt{3} : 2$$

AB=6cm だから、

$$AP : 6 = \sqrt{3} : 2$$

したがって、 $AP = 3\sqrt{3}\text{cm}$



AM:MP=2:1 より

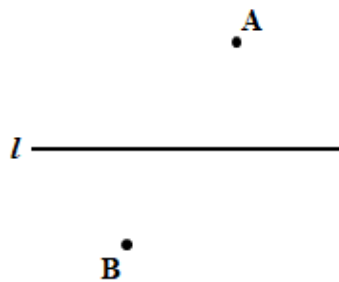
$$AP : MP = 3 : 1$$

$AP = 3\sqrt{3}\text{cm}$  だから、

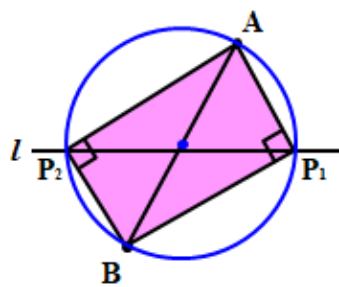
$$3\sqrt{3} : MP = 3 : 1$$

したがって、 $MP = \sqrt{3}\text{cm}$

答.  $\sqrt{3}\text{cm}$



(1)直線 $l$ と直線上にない2点 $A$ , $B$ があります。直線 $l$ 上に点 $P$ をとるとき、 $\angle APB=90^\circ$ となる点 $P$ は2つあります。この2つの点 $P$ のうちの1つを、コンパスと定規を使って作図しなさい。

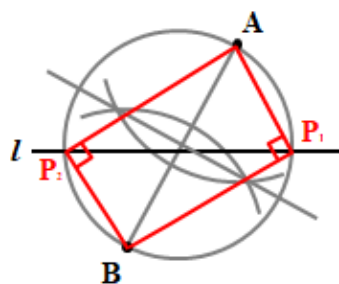


**逆転の発想①**

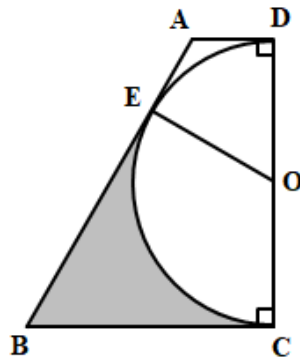
線分 $AB$ を斜辺とする  
直角三角形 $APB$ を作る



点 $P$ は  
線分 $AB$ を直径とする円  
の周上にある!!

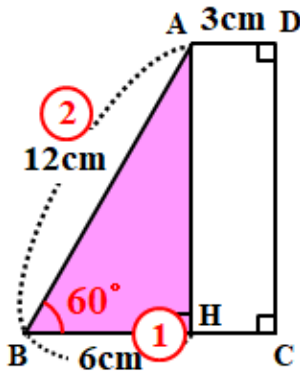


線分 $AB$ の中点を取り、  
線分 $AB$ を直径とする円をかき、  
直線 $l$ との交点を $P$ とすればよい。

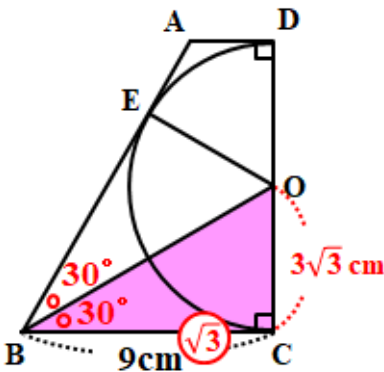


(3)左の図の四角形ABCDは、 $AD \parallel BC$ 、 $\angle C = \angle D = 90^\circ$  の台形で  $AD = 3\text{cm}$ 、 $BC = 9\text{cm}$  です。この台形の辺CDを直径として円Oをかくと、点Eで辺ABと接します。このとき、図のかけをつけた部分の面積を求めなさい。ただし、円周率は $\pi$ とします。

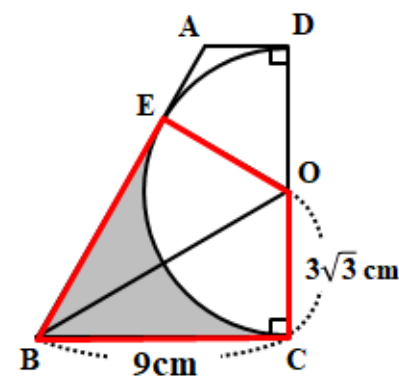
**逆転の発想②**



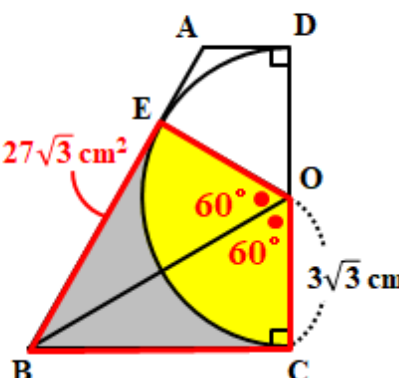
$BH = 6\text{cm}$ 、 $AB = 12\text{cm}$ だから、  
 $BH : AB = 6 : 12 = 1 : 2$   
 よって、 $\triangle ABH$ は  
 3辺の比が $1 : 2 : \sqrt{3}$ の直角三角形。  
 したがって、 $\angle ABH = 60^\circ$



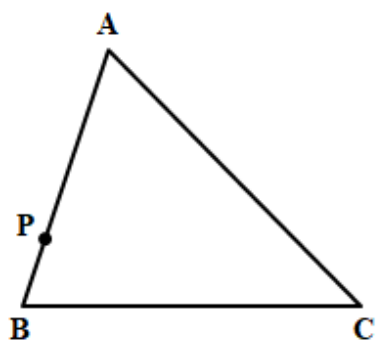
$\angle ABC = 60^\circ$  より、  
 $\angle OBE = \angle OBC = 30^\circ$   
 よって、 $\triangle OBC$ も  
 3辺の比は $1 : 2 : \sqrt{3}$ だから、  
 $OC : BC = 1 : \sqrt{3}$   
 $BC = 9\text{cm}$  より  
 $OC : 9 = 1 : \sqrt{3}$   
 したがって、 $OC = 3\sqrt{3}\text{cm}$



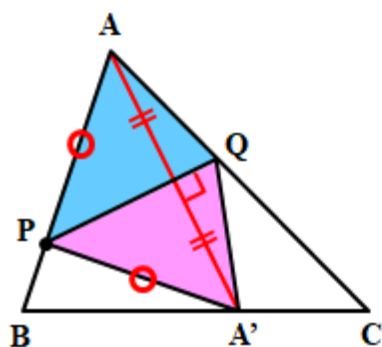
四角形OEBCの面積は  
 $\triangle OBC$ の面積の2倍だから、  
 $(9 \times 3\sqrt{3} \times \frac{1}{2}) \times 2$   
 $= 27\sqrt{3}\text{cm}^2$



おうぎ形OECの中心角は  
 $60^\circ \times 2 = 120^\circ$ だから、  
 その面積は  
 $(3\sqrt{3})^2 \times \pi \times \frac{120}{360}$   
 $= 9\pi\text{cm}^2$   
 答.  $(27\sqrt{3} - 9\pi)\text{cm}^2$



(3)  $\triangle ABC$ の辺AB上に点Pがあります。点Pを通る直線を折り目として、点Aが辺BCに重なるように $\triangle ABC$ を折ります。このとき、折り目となる直線をコンパスと定規を使って作図しなさい。

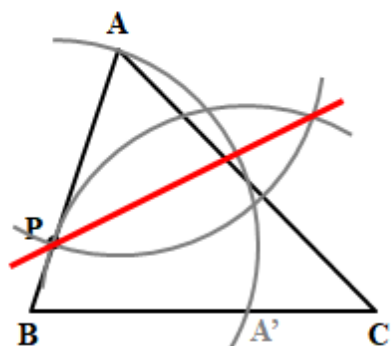


**入試必勝ポイント③**

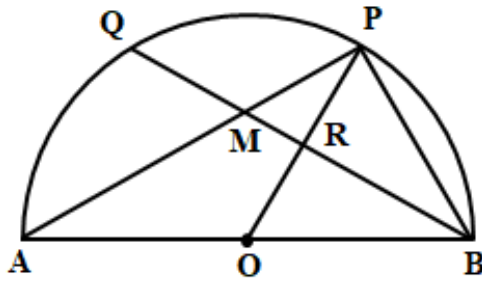
点Aが移った点をA',  
折り目をPQとすると,  
 $\triangle APQ \cong \triangle A'PQ$



対応する辺は等しいから  
 $PA = PA'$



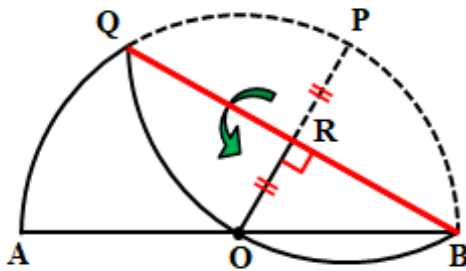
したがって、  
 $PA = PA'$ となる点A'をとり、  
線分AA'の垂直二等分線を  
引けばよい。



線分ABを直径とする半円Oの弧AB上に点Pをとります。また、線分AP上に $AM:MP=2:1$ となる点Mをとり、線分BMをひきます。 $AB=6\text{cm}$ 、 $\angle ABP=60^\circ$ のとき、次の各問に答えなさい。

(2)①

半円Oを線分BQを折り目として折ったとき、点Pは点Oと重なります。その理由を説明しなさい。

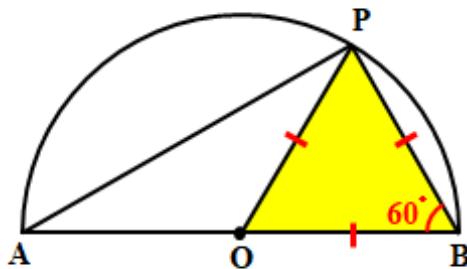


逆転の発想③

点Pと点Oが重なる



折り目BQが線分OPの垂直二等分線であることを示せばよい。

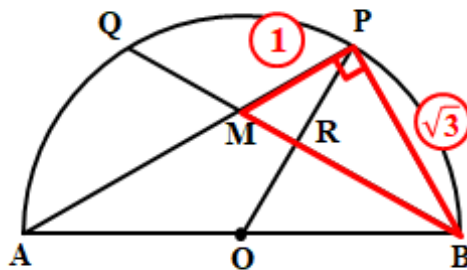


【説明】

$\triangle OBP$ において、

$OB=OP$ 、 $\angle OBP=60^\circ$

よって、 $\triangle OBP$ は正三角形である。…①

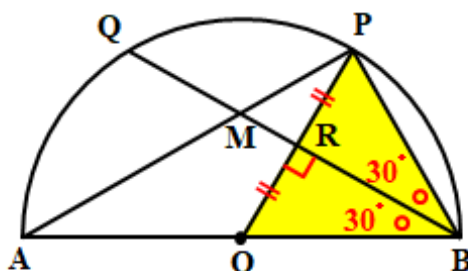


直角三角形PBMにおいて、

$PM=\sqrt{3}\text{cm}$ 、 $PB=3\text{cm}$

より  $PM:PB=1:\sqrt{3}$  だから、 $\angle PBM=30^\circ$  …②

逆転の発想②



①、②より、線分BQは正三角形の内角の二等分線だから、線分OPの垂直二等分線。よって、点Pと点Oが重なる。